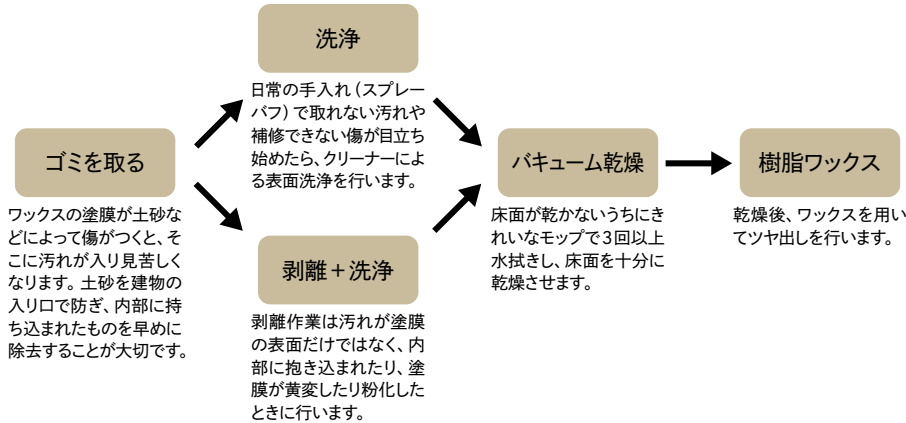


メンテナンスシステム

床施工後の注意点

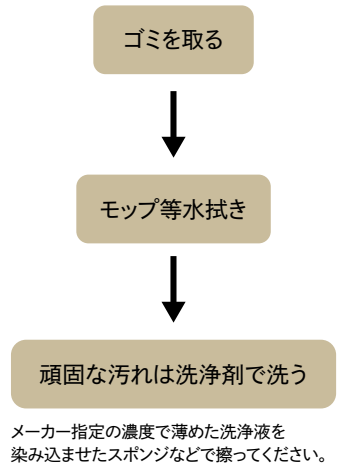
- 床施工後は重量物の移動や仮置きは避け、必ず養生等を行ってください。
- 接着剤が十分に硬化してから洗浄を行ってください。
- ワックスを塗布する前に必ず床材表面の汚れを洗浄、除去してください。
- 清掃完了後、ワックスを2～3層塗布してください。
- 床材表面への傷を防止するために出入口にはマットを設置し、定期的に交換してください。

定期清掃



日常清掃

オプションでノーワックスメンテナンス仕様に変更した場合、日常清掃によって長期間美観を維持することができます。



必ずご確認ください

選択上のご注意

- 商品は厚さ3.0mmです。
- 商品の印刷による再現には限度があり、このカタログに掲載されている商品画像の色合には現物と若干異なる場合があります。（掲載写真に合成写真を含まず）
- この見本帳に記載されている、すべての表示価格には消費税は含んでおりません。
- 淡色系の品番は、目地や汚れが目立ちやすくなる場合があります。
- 受注生産や特注対応についてはP273をご覧ください。

維持管理および使用上のご注意

- ある種のゴム製品との接触によって汚染されることがありますのでご注意ください。床材とゴム製品の間にはプレートを挟むなどの対処をお勧めいたします。
- 日差し（紫外線）によりタイルが色変化する場合があります。紫外線カットフィルムを設けるなどの対処をお勧めいたします。
- 家具やかかどにかかる局所的な荷重により、床材の表面に傷やへこみ跡がつく場合があります。
- その他施工並びに維持管理につきましては床仕上げ総合カタログをご参照ください。

施工上のご注意

- 自然な風合いを出すため、色ムラがあったり、同じ品番でも部位によって色が異なるものがあります。
- 品番・サイズの違う商品を組み合わせる場合、また、同品番であっても製造ロットが異なる場合、寸法誤差が生じることがあります。現場での調整をお願いいたします。
- 淡色系の品番は開梱後、太陽光や蛍光灯の影響により若干色味が変わる場合があります。
- 目地隙、浮きを防ぐためには平滑な下地作りが必要です。
- 施工環境・条件による接着剤使い分けの考え方は右記表、または床仕上げ総合カタログをご参照ください。
- 低温時の施工は塩ビの特性により商品が硬くなり納まりが悪くなる場合があります。

状況別 推奨接着剤選定表

※床材は複層ビニル床タイルの場合

		水性形接着剤		溶剤形接着剤	
		アクリル樹脂系エマルジョン形 (環境対応・低臭形)		一液性反応硬化形接着剤 ウレタン樹脂系溶剤形	二液性反応硬化形接着剤 エポキシ樹脂系溶剤形
		セメント AK-S	セメント AK	セメント U10	セメント EP20
下 地	モルタル	一般工法	◎	○	○
		耐水工法	×	×	◎
		耐荷重用途	×	×	◎
		臭気対策	◎	◎	×
		低温時 (5~15℃)	×	×	○
	普通合板	△	×	○	○
	垂直面	×	×	△	×

凡例：◎最適 ○適 △制約あり ×不適